

公開講座の開設主旨・目的等

日本の高齢者人口は年々増え続け、それに伴って認知症患者も増加の一途をたどっています。厚生労働省の発表では、2012年の認知症患者数は462万人であり、2025年には700万人（高齢者の5人に1人）に達すると推計されています。認知症のうち最も多いとされるアルツハイマー型認知症では、もの忘れで始まり徐々に認知機能の低下が進んでいくのが一般的ですが、介護されるご家族はご本人の変化に戸惑われることも多いようです。また、気分が沈んだり、怒りっぽくなったりとこれまでにみられなかった行動や心理症状が出てきて対応に困るケースもあります。老老介護や介護離職、認知症予防など認知症に関する話題がメディアで取り上げられない日はありません。最近では高齢者ドライバーの起こす交通事故の増加が問題となり、それを受けて今年の3月には道路交通法が改正されました。このように認知症にまつわる話題には事欠きませんが、間違った情報や誤解も多いようです。家族の誰かが認知症になっても、慌てず対処できるように、私たちは正しい知識を持つておく必要があるでしょう。今回の公開講座では、日頃から認知症に関わっている4人の講師に講義をお願いし、みなさんに認知症について正しく理解していただくことを目的としました。多数のご参加をお待ちしております。

講義日程・題目及び講師

回	講義日	時間	講師
1	10月7日(土)	10:00~11:00	立花 久嗣 医学部附属病院 認知症センター 特定助教
2		11:10~12:10	松山 賢一 医学研究科 精神医学分野 助教
3	11月11日(土)	10:00~11:00	尾寄 遠見 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 助教
4		11:10~12:10	山本 泰司 神戸大学 保健管理センター 准教授

連絡先

〒650-0017 神戸市中央区楠町7丁目5-1
神戸大学医学部総務課研究科総務係
TEL:(078)382-5015 FAX:(078)382-5050
お問い合わせ対応時間:平日9時~17時
※ 土曜・日曜・祝祭日はお休みをいただいています。